令和８年度第１回三木市手話施策推進会議　議事録

日　時：令和８年６月３０日(火)　１０：００～１１：３０

場　所：三木市立教育センター　４階　大研修室

出席者：会長　山本氏(兵庫県聴覚障害者協会理事)、副会長　梶氏(関西国際大学教育学部長)、藤原氏(三木ろうあ協会会長)、井本氏(三木市社会福祉協議会ボランタリー活動プラザみき　所長)、野藤氏(三木商工会議所中小企業相談所所長)、平田氏(三木市区長協議会連合会理事)、戸田氏(公募)

オブザーバー　武内氏(学校教育課)

欠席者：帆先氏(三木市登録手話通訳者協会会長)、佐伯氏(公募)、厚氏(公募)

事務局：山城健康福祉部長、西本障がい福祉課長、増田障がい者支援係長、稲垣設置手話通訳者、高島設置手話通訳士

１　開会

(事務局)ただいまより令和 8 年度第 1 回手話施策推進会議を開催いたします。本日司会を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては大変お忙しい中本日ご出席の方を賜り、誠にありがとうございます。さてこの三木市手話施策推進会議ですが、三木市共に生きる手話言語条例第 6 条第 1 項にある市の責務として掲げる施策の実施状況について皆様にご意見を

いただく会議として開催しております。

委員構成は手話言語条例第 6 条第 3 項による、聴覚障がい者、意思疎通支援者、学識経験者などとなっております。

今年度、委員の交代が 2 名ありました。

委嘱状の方を新たに交付させていただきました。

本来であればお 1 人お 1 人委嘱状をお渡しするべきですが、お時間の都合上送付させ

ていただきましたのでご了承いただきたいと思います。

また本推進会議は、三木市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき公開としております。

本審議会の開催を事前に告知しておりましたが、本日につきましては、傍聴の希望者はありませんでした。

なお本日の推進会議は、三木市登録手話通訳者協会会長の帆先委員並びに公募委員の佐伯委員それから厚委員が欠席ということでご連絡をいただいております。

委員 10 名中、3 名のご欠席となっておりますので委員の過半数を上回っております。

推進会議規則第 3 条第 2 項の規定により、本日の会議が有効に成立しておりますことをご報告いたします。

それでは推進会議の開会にあたりまして会長より皆さまにご挨拶を申し上げます。

【会長挨拶】

おはようございます。皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

個人的な趣味なんですけれども、絵本の展示がありましてそこに行きました。すごくかわいい、昔読んだことがある絵本がたくさん展示されていてとても魅力的で、記念写真を撮りたいなと思ったんですけれども、そのときに担当の女性の方がいらっしゃって、展示物写真撮影してもいいですかと身振りでお伝えしました。本当は文を打って見せようと思ったんですが身振りで挑戦してみたら、彼女がそれを読み取ってくれてすぐに手話で案内してくださって驚きました。

手話ができる人だったんだと思いました。

そこは写真撮影が駄目な部分もありますけれども、できるところもありますよというような感じで全部みんな手話ができないだろうと思っていたんですけど、意外に身振りで伝えてみると手話ができる人がいるということに気づくことができました。

大河ドラマで現在豊臣兄弟が放送されていますが、一昨日ですかね。放送されましたね。

この辺りを歩いて行くとたくさんの方が観光に来られているのかなと思っていたんですけれども、案内担当の方が 1 人でもいいからその中に手話ができる人がいて、簡単なコミュニケーションができるような社会になったら、聞こえない人も安心して観光

することができて、笑顔になることができるのかなと期待しながらこちらに参りました。

聞こえない人に関して昨年、デフリンピックが無事終わりまして、目標であった人数の 3 倍 28 万人の方が観戦に来られて応援に来られたということでした。

応援する人、選手で参加する人、聞こえる聞こえない関係なく、みんなで応援し盛り上がり、その裏ではそれぞれの競技、21 競技ありましたけれども、日本の競技協会聞こえる方々、デフリンピックの運営担当の方、世界のろう者のスポーツ委員会ですね。一緒になって取り組んできて、国際手話でコミュニケーションする日本で、日本の手話で協力しながら無事成功することができました。

聞こえない人、手話関係者だけで集まるのではなく、聞こえる人、手話のできない人、聞こえない人も一緒にできたらいいなということで、今回いろんなことがそのようになる話し合いができればいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局）　はい会長どうもありがとうございました。

【資料確認】

【自己紹介】

（事務局）はいそれでは令和 8 年度につきましてはこのメンバーの方で進めてまいりたいと思いますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

それでは以後の進行につきましては会長の方にお願いしたいと思います。会長よろしくお願いします。

（会長）はい、ありがとうございます。

それでは、次第 4 の報告事項に入ります。

令和 7 年度事業実施状況につきまして、事務局よりお願いいたします。

【令和７年度事業実施報告】

【質疑応答】

（委員）たくさんの取り組みありがとうございました。

僕が少し思ったことを２つお話させていただきます。

１つは絵本を使った子供たちへの手話を自然に知っていただいたり、身近なものとして考えていただく、絵本を読み聞かせというその活動の中で、それは目立たない活動かもわかりませんが確かに小さい子供たちの中に芽生えをね、手話に対するまたはいろんな障がいのある方々への理解という、そういう種をまくような活動だなと思います。写真を拝見すると何人かね参加されていて、これはぜひ続けていただきたいし、その先に小中特別支援学校で、毎年必ず多くは 4 年生という高学年の自覚を持つ、そういう年齢で学校で手話の勉強をするという。

多分校内ではそれを使ってまた広げられていると思いますので、そういう自然な学びが作られ、学んだ子供たちがまた講座に参加したりとかいろいろなところで興味を持っていただいて、ある人はリーダーになっていただくそういう自然な流れが用意されているので、これはぜひ大切に続けていただいたらいいなということが１つ思いました。

それから、もう１つは市役所の皆様が全員 2 年目で必ず学ばれてしかもそうじゃなくて学校で言う放課後という時間帯で主体的に学びを進められてしかも資格や検定に挑戦されているというそんな取り組み本当にすごくいいなと感じました。

それに消防署の皆様も、たくさん学ばれているという。これもぜひ大切に続けていったらいいなって思いました。以上 2 つが感想です。1 つ質問です。

4 年 5 年 6 年 7 年前かわかりませんが、救急で呼んだときにやっぱり文字でのコミュニケーションだと、すごくタイムラグがあるし、とてもしんどい思いつらい思い痛い思いをしている。

それが伝わらないというのでぜひ消防署を救急で手話をという、そんな流れになったんだと思うんですけども、実際はあって欲しくないですけどもそれがやっぱり伝わった良かったよという事例なんかはない方がいいんですが、消防署の方から聞かれたりされているんですかね。

（事務局）ここ数年実際消防本部の方に登録している手話通訳と要約筆記の名簿を預けています。

閉庁時の後に何か救急で、このネット 119 などで消防の方に通報があった場合、まず名簿の一番目から順番に通訳の方に連絡が来ます。

その間ですね、消防署の職員さんが名前とかどうですかっていうのが、簡単な手話で

もできることで、聞こえない方からその手話を見るだけで安心できるっていう話を直接お聞きしたりしているので、効果はあると思います。

また、実際の現場でこういった状況で手話をどうすればいいのかっていう消防署の皆さんからの意見もあるので、そのケースケースに対しての手話の勉強もしているので実際起きたときにちょっと手話ができるようになってきたのでという話を消防署員さんからも聞くのでお互いにとっていい傾向であるかなとは思っています。以上です。

(会長)ありがとうございました他に何か感想とか質問ございましたらお願いいたします。

特にないようですので進めてもよろしいでしょうか？

【協議事項】

では(5)協議事項の1、令和8年度事業実施（案）についてご説明をお願いします。

【令和８年度事業実施(案)説明】

【質疑応答】

（会長）令和8年度のたくさんの計画が進められるということのご説明がありました。

その中で１つ気になることがありますので、私からご質問させていただいてよろしいでしょうか⑭事業所に対する手話啓発講座実施とあります。

申し込みは待っている状況ということが先ほどあったんですけれども、そこに

中小企業相談所所長様がこちらに来られておられるので何か良い方法がございましたらアドバイスをいただけたらと思います。

いかがでしょうか？

(委員)⑭のこの事業所に対し、手話啓発講座の実施ということでこれは市が開催されている講座ということでよろしいですかね。例えば案内のチラシといいますかそういうものがあるようでしたらこちらのなんですかね会報誌に同封してみたりとか、そういう形でPRすることは可能なのかなと思います。

（会長）ありがとうございます。

事務局、いかがでしょうか？

（事務局）ありがとうございます。

なかなか毎年あっても１件とかという状況が続いていますので、一度大々的に三木市の商工会議所さんの方で登録されている事業者様皆様に対して、チラシと周知の方、今年度できたらなと思いましたので、ぜひチャレンジさせていただきたいと思います。また日程調整等についてはこの後詳細に説明を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

【協議事項⑵今後５年間のＫＰＩ(重要業績評価指標)について説明】

他の項目につきましてはなかなか数値目標というものが立てにくいものでしたのでまずはしっかりと毎年開催していく。

評価の段階でもう役割を終えたような事業があれば、この中で協議をしまして事業としては、別の事業へ変えていくとかそういう形で今後も続けていきたいと思います。

こちら案となりますので皆さんの方で一度ご審議いただきたいと思います。よろしくお願いします。

（会長）事務局の方からの説明が終わりました。

皆さん何かご意見などございましたら挙手の上、お願いいたします。

ではよろしくお願いします。

(委員)失礼します。以前の会議を受けてどんどん改善というか改良といいますか、進めていただいてありがとうございます。今回もこうやって数値目標を考えていただいて、具体的に前に進める目標ができてよかったかなと思います。

はい KGI で数字を出してなかなか難しいので、こうやって KPI 途中のいろんな手段の目標値を上げながら大きな条例にあるものを進めていくという。

実際に前に進めていく方略を示していただいたようでとてもいいなって思っております感想で申し訳ないです。以上です。

あと子ども関係については例えば 3 番ですよね。

先ほどの説明で子どもの参加者を増やすって僕は子どもと関わる仕事なので大賛成で、子どもが増えれば親御さんも増えて必ずついてくるということですのでターゲットとしてはとてもいいんじゃないでしょうかと思いました。以上でございます。

(会長)ありがとうございました。他にいかがでしょうか？

私も仕事の関係で、いろいろ関わることもいろいろあっていいなと思いました。

わかりやすい。

ご自身の仕事に関わることでも結構ですのでお話しいただければと思います。

特にないようでしたら次に進めてもよろしいでしょうか？

【6　その他　(1)ブルーライトアップ協力のチラシについて】

(事務局)引き続き説明の方いたします。

ブルーライトアップの関係ですね。

協力企業様をですね募集していきたいと考えております。

その中で事務局案として、3つほどチラシ案を今日作ってきました。これが資料5となっております。

我々ド素人ですのでなかなかこれが良いのか悪いのかいうのはちょっと判断しかねるところもありますので、皆さんにも確認いただいてどの方向でいいとかさらにまたこんなとこ付け足した方がいいんじゃないかなというご意見をいただきましてブルーライトアップの協力企業様募集のチラシを完成させていきたいと思います。

完成した暁にはこちらのチラシの方をまた野藤様の方でご協力を仰ぎまして、市内企業様に周知できたらなと考えてございます。

忌憚のないご意見いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

あの違いだけ説明しておきましょうかね。

資料5のですね、案1というものにつきましては、ブルーライトアップなので黒バックにしてみてですね、実際の画像に関しても青の丸が濃く、少し幻想的なデザインをさしていただいたというところで作っているのが案1でございます。

案2につきましては写真のですね縁取りのところを白くしてですねより強調できるんじゃないかと。

案1の方が少しぼやけてるんで、もっと目立つように白丸にしたらどうかということで作ってみました。

さらに案3につきましては、なかなか黒いチラシは手に取ってもらえないんじゃないかということで、白バージョンということで作ってみました。

それぞれ作った理由とか、狙いというのはそういったところでございます。

その他何かご意見等あればよろしくお願いいたします。

(会長)皆さんご意見いかがでしょうか？手に取ったときに、どれがいいと思われますでしょうか？意見をお願いします。

（委員)感想ね、皆さんちょっとおっしゃっていただければいかがなもんでしょう。

僕ですかね。すいません。

弱視の方が見たら、この黒いのはやっぱり見やすいのかなって思います。案2が。それから雰囲気だけは、明るさは少し重い感じがするので案3が一般受けするのかなって思います。

あと中学生にこれちょっと頼んで、中学生はキャンバか何かという AI を使う、使ってポスターを作るなんか能力を今持ってるのかなと思うので、ちょっと外注してもいいのかなと。

本当に障がい福祉課の皆さんお忙しいので今後はちょっと頼まれへんか言うて頼んでみてもいいのかなと思ったり。ついでの意見です。以上でございます。

(会長)ご意見ありがとうございました。

いろいろな人に関わりを持ってポスターを作っていただくというのもいいかと思いました。

皆さんいかがでしょうか？何かご意見いただけますか。

(委員)この黒い色がそういう意味があるものだというのがわからなかったので、すごく勉強になりました。

うちの会報誌に同封していただくという事ですが、この9月23日の日に間に合わせるっていう形であれば、うちは奇数月に会報誌を発送してるんです。

ですので、5月7月9月ということで9月に発送したらちょっと間に合わないと思いますんで、7月になるのかなと、7月の20日に出しておりまして、こういうパンフレットとかチラシを、7月10日ぐらいに事務所の方にいただきたいというふうにやっております。

ですんで、ひょっとすると、外注してするのが、タイミング的に間に合うか分からないんですが今年であればちょっとそういうスケジュールでお願いできたらなと思いま

す。

(会長)ありがとうございました。

締め切りも含めて大切なご意見ありがとうございました。

外注というのは来年に向けてできたらいいなと思います。

他に特にご意見がないようでしたら、これで終わりたいですがよろしいでしょうか?はい皆さん貴重なご意見ありがとうございました。

(事務局)事務局としてもこれが何も最終系とは全く思ってなくてですね、一度委員の皆さんに意見聞いてみようかぐらいの感じでしたので、委員様からもお話いただきました子どもたちに外注してみてはどうかというお話もありますのでその辺もちょっと含め検討していきたいと思います。

今年度についてはこんな感じですけども来年以降そのポスターの最優秀作品をこういうところに入れていくとか、いろんな工夫のやり方があると思うんです。

最初からそのポスター自体を、募集チラシなど例えば手話まつりの募集チラシを考えて作ってくれとかそういう題材を変えていくというのも一つですので貴重なご意見いただきましたので、今後、より良い方向にやってることがしっかり繋がっていくような施策にしていければなと思いますのでご意見いただきましてありがとうございました。

（会長）ありがとうございました。

これで今回の協議事項は全て終了いたしましたので、事務局に進行をお返しいたします。

(事務局)会長どうもありがとうございました。

それではですね事務局の方から事務連絡何点かさせていただきたいと思います。

冒頭で今日の会議の中で、説明もありましたけれども、市内小中特別支援学校の手話啓発ポスターの募集が9月上旬ぐらいが締め切りとなってございます。第2回の会議につきましては皆さんにご審議していただくことを考えておりますので、2回目の会議を10月頃に開催したいなと考えております。

また日程等決まりましたらご案内等差し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上で説明の方を終わります。

それでは閉会の挨拶の方を副会長の方からお願いしたいと思います。

【閉会挨拶】

(副会長)失礼します。

皆さん本当にお忙しい中お集まりいただきいろんなご意見をいただきありがとうございました。先ほど増田さんのお話の中で、10 年は全然意識してなくて 10 年経ってやっぱり前に進んで新たな広がりや繋がりが実現できるそういう活動になっているのかなと感じました。

また引き続きどうぞよろしくお願いします。

本日はどうもありがとうございました。